

科目名	地域企業論	備考	
単位数	2 単位	授業形態	講義

小 澤 伸 光

## 《地域の企業の分析》

## 1. 授業内容

講義では、企業分析に必要な経営戦略、マーケティングの理論を概説した上で、実際の事例を対象に分析を試みます。地域で生き残っている企業は、それぞれが他の企業ではできない何かを持っており、それを基盤に差別化を図っています。事例を知ることによって、企業理論の妥当性を確かめることができますし、さらには、就職活動に応用できる基礎的な知識・企業を見る眼を養うこともできます。講義では、企業を通して仕事の実態を知るために、企業のウェブサイトを画面に出しますし、講義の理解度の確認や、常識を覆すために、Q&A を何回も行います。

## 2. 到達目標

この講義を通じて地域企業がどのように地域経済活性化、地域雇用への貢献に関わっているかを理解することができます。企業の行動の実態を学ぶことで、駿大社会人基礎力の(1)論理的・多面的思考力、(2)課題発見能力、(3)問題解決能力、を養成します。また、講義を積極的に受講することは、ノートテキングをし、教科書を理解し、小テストの解答を書き、解答を確認することになりますから、(4)読解力、(5)理解力、(6)文章力、をつけることもできます。

## 3. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素 (スポーツ科学部)

(1)論理的・多面的思考力、(2)課題発見能力、(3)問題解決能力、(4)読解力、(5)理解力、(6)文章力

## 4. 卒業認定・学位授与方針との関連

この講義は、全学ディプロマポリシー (1. 基礎的な力)、(2. 考える力)、(5 総合的な力) と関連します。企業活動の実態と、企業における仕事の実態を知ることによって、組織の現場で必要とされる上記能力の基礎作りを目的としています。

## 5. 関連科目

地域産業論

## 6. テキスト・参考書等

【教科書】黒崎誠(2018)『世界に冠たる中小企業』講談社：講義は教科書に沿って展開します。

【参考書】木全賢・井上和世(2009)『中小企業のデザイン戦略』PHP ビジネス新書：工業デザインの参考書です。

【参考書】石坂典子(2016)『五感経営 産廃会社の娘、逆転を語る』日経 BP 社：石原産業経営者の著書です。

## 7. 授業外における学習方法及び必要な時間

- (1) 事前に教科書をよく読み、論点をまとめてくること (2.5 時間)。  
 (2) 復習によって授業内容を確認し、疑問点や質問事項について、自分の考えも含めてまとめておくこと (1.5 時間)。

## 8. 成績評価方法

評価種別	割合 (%)	成績評価基準・その他備考
期末試験	70	到達目標に対応して、学習到達度を確認するために事例を含んだ試験を課す。(1)論理的・多面的思考力、(2)課題発見能力、(3)問題解決能力、を評価する。
小テスト	20	到達目標に対応して、授業内で 2 回、内容に関連する小テストを行なう。(1)論理的・多面的思考力、を評価する。
授業への取組	10	到達目標に対応して、授業内での発問への応答内容により、(1)論理的・多面的思考力、(2)課題発見能力、(3)問題解決能力、を評価する。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

講義期間中、授業の最後に理解力を図る小テストを 2 回行い、次回に解答例を配付して論点、解答のポイント、誤りやすい点を確認します。

## 10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験：－  
 実践的な教育の取組：－

## 11. 授業計画

第 1 回	中小企業の強みと弱み
第 2 回	伝統技術の活かし方
第 3 回	マルト長谷川工作所
第 4 回	ヤナギヤ
第 5 回	阿波スピンドル
第 6 回	専門分野に特化する
第 7 回	東海バネ工業
第 8 回	東光社
第 9 回	「超先端技術」を武器にする
第 10 回	北野精機
第 11 回	エリオニクス
第 12 回	ニッチ市場を目指す
第 13 回	メトロール
第 14 回	大地農園
第 15 回	埼玉県西部の企業：カネパッケージ、industria、石原産業